



昨年12月より、東京南部事業本部のリーダー会議(事業所の所長などのリーダーが参加する会議)に参加させてもらっています。東京南部事業本部は、港区、大田区、品川区、目黒区をエリアとしており、約270名の仲間が、子育て支援事業、高齢者の生きがい・健康増進、障がい児支援、バイオディーゼル燃料の製造などの事業を行っています。

センター事業団には、事業所の自治を高めることをサポートする役割として、全国に19の事業本部があります。北は北海道事業本部、南は九州事業本部・沖縄開発室です。それに加え、池袋にある本部は、全国の事業所の実践から生まれた知恵や経験を集め、事業所の基礎活動をサポートする役割をもちます。このことから、事業本部と本部は、「事業所がセンター事業団らしく事業運営ができるよう」支えていくことが使命であると考えられます。

昨年から、調査のために事業所の会議に継続的に通うようになりました。そうした中で、事業所の意思決定が、事業本部や本部に影響を受けていると感ずることがありました。これは悪い意味ではなく、「全国組織としてどうあるべきか」が事業所の意思決定の場面で自然と確認されることがあるという意味です。これだけ大きな組織であるにも関わらず、情報が行き届いていると感じました。

一方で、事業所が事業本部や本部に影響を与えていることがあるとも聞きます。つまり、センター事業団らしさは、事業所の実践によって変化や深化していくと考えられます。しかし、実際にはどのように相互に影響を与えあっているのか。自分の目で見ても記録をしてみたいと考えるようになりました。

そこで、東京南部事業本部の前本部長である川辺さんに相談したところ、リーダー会議への参加を二つ返事で了承していただきました。4月には体制が変わり、本部長は鈴木さん、事務局長は西尾さんになりましたが、同じく受け入れてくれ、毎月1回のリーダー会議に継続して参加させていただいています。

その中で、例えば「事業所のリーダーが大変さを感じていることに対して、事業本部のみなさんがどのように関わっているのか。」や、「総代会議案がどのように理事会から事業所に伝わり、事業所の組合員一人ひとりからどのように意見がすくいあげられていくのか。」など、今まで意識してこなかった全体の関わり合いが見えてきました。

事業本部は、事業所と本部の両方から頼られるため、大変なことも多いのではないかと思います。今後事業所・事業所本部のみなさんから学んでいきたいと思っています。